

里山の長期モニタリングからみえた生態系の変化と 市民調査の可能性

～東北の豊かな自然環境を未来に引き継ぐために～

近年、里山ではノウサギやホタル、チョウ類などの動植物が減少傾向にあります。また、ニホンジカやイノシシ、アライグマなどの野生動物が各地で侵入・増加し、植物や両生類を摂食するなど生態系への影響が増大しています。東北の里山は、豊かな自然が残る一方、一度も現状把握がされていない場所も多くあり、里山の現状やその変化をとらえ、いち早く保全や対策に結びつけていくことが求められています。

モニタリングサイト1000里地調査は、全国各地の里山で、地域の皆さんが調査の主体となり、状況や変化をみるためのモニタリング調査です。

本イベントでは、現在起こっている野生動物や生態系の変化を切り口に、里地調査の今までの成果や市民調査の重要性を伝えるとともに、里山の自然環境の保全に向けた参加者同士の連携のあり方を探っていきます。また、今年実施している里地調査の調査地登録に向けた応募方法もお伝えします。

2017年 **7月22日(土)** 13:00～16:30 (受付 12:30～)
山形大学小白川キャンパス 理学部1号館11番教室 (山形市小白川町1-4-12)

共催：日本自然保護協会、環境省生物多様性センター

協力：出羽三山の自然を守る会 後援：山形大学理学部、山形県

講演会 (13:00～)

- ①「東北での野生動物の現状と生態系への影響」
(山形大学 江成 広斗 氏)
- ②「里山での市民調査の重要性とモニ1000里地調査の概要」
(日本自然保護協会 後藤 なな)
- ③「コアサイト『天狗森』での調査の様子」
(出羽三山の自然を守る会 佐久間 憲生 氏)
- ④「モニ1000里地調査の具体的な手法と調査の様子」
(日本自然保護協会)

座談会 (15:05～)

里山の生態系を保全するため、市民によるモニタリングの必要性や可能性について、これまでの事例や課題を基に話し合います。

サイト募集のお知らせ (16:05～16:30)

- ⑤「モニ1000里地調査サイト募集のお知らせと応募方法の説明」
(日本自然保護協会)

お申し込み方法 (定員70名(先着順), 事前申込推奨) :

下記連絡先まで①お名前、②ご所属、③メールアドレスまたはFAX番号を**7月17日(月)**までお知らせください。
申込みフォームもございますのでご利用ください。

◆ 申込みフォームURL : <https://goo.gl/ZMbHw1>

※ 大学の駐車場が限られているため、出来る限り公共交通機関でお越しください。どうしてもお車での移動が必要な場合は、お申込みの際にお知らせください。

申込みフォーム
QRコード

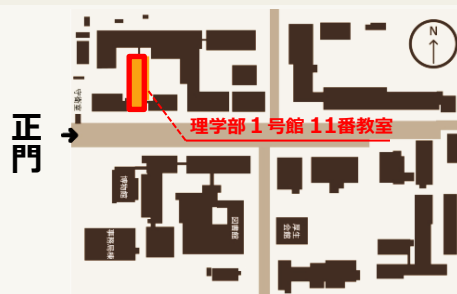


アクセス

- ・山形駅から東方へ約2km (徒歩約25分)
- ・市内路線バス「県庁前・県庁北口」行きで「南高前・山大入口」下車、徒歩約7分



1号館は山形大学小白川キャンパスの正門から入ってすぐ左手



(山形大学小白川キャンパスマップ)

2017年度、モニ1000里地調査にこれから**5**年間参加して下さる調査地を募集しています！詳しくはウェブサイトをチェック！お気軽にお問合せください！

公益財団法人 日本自然保護協会

モニタリングサイト1000里地調査事務局 (担当：後藤・藤田)

TEL 03-3553-4104 FAX 03-3553-0139 Mail moni1000satochi@nacsj.or.jp

ウェブサイト <http://www.nacsj.or.jp/activities/guardians/moni1000>

もしくは で検索